

和牛のオリンピック 「全国和牛能力共進会」

大山町の3頭が 県代表に

8月3日(金)、鳥取県中央家畜市場(琴浦町湯坂)で、10月末に行われる「全国和牛能力共進会長崎県大会」に出品する鳥取県代表牛を決定する鳥取県最終審査会が開催されました。

この日、第1次審査会において選抜された和牛(種牛)47頭が、7部門で鳥取県代表の座を競い合いました。

その中で、第4区(系統雌牛群)で、小谷茂さん(上坪東)の「しばひめ3013」と「しばひめ384」の2頭が代表牛に選ばれました。

また同日、肉牛区の代表牛の発表もあり、第9区(去勢肥育牛)で、西田佳樹さん(羽田井)の「一人薩摩路」が代表牛に選ばれました。



▲「しばひめ384」(奥側)

「全国和牛能力共進会」は5年に1度開催される大会で、和牛のオリンピックともいわれています。全国の優秀な和牛が一堂に会し、その優秀を競う全国大会です。5年前の平成19年には、鳥取県大会として、メイン会場を米子市、肉牛の部が大山町で開催されました。

生産者の皆さんの、日々の努力が実を結んでの代表牛決定です。前回大会以上の成績に大きな期待が寄せられています。

和やかに交流

中山酪農祭

酪農家同士の親睦を図ろうと『中山酪農祭』が、8月7日に「ふるさとフォーラムなかやま多目的広場」で行われました。この行事は毎年恒例となっており、今年で12回を迎えました。

今回は、中山地区だけでなく名和地区、大山地区の酪農家のみなさんも参加され、また親子3世代での参加もあり、バーベキューを楽しみながら、意見交換や親睦を深め、和やかな酪農祭となりました。

県内の酪農家が搾った新鮮で、おいしい牛乳をたくさん飲んでね!!



▲「牛乳で乾杯!」

マナーを守り、

ユートピアのお花畑を楽しもう

7月下旬から8月上旬にかけて、大山の三鈷峰方面にある大山ユートピア小屋周辺では、美しい高山植物の花が咲き乱れます。

この時期一斉に開花するのは、主にナンゴククガイソウやシモツケソウ、エゾノヨロイグサなど約10種類の高山植物です。今年は天気が安定していたこともあり、土日を中心に、多い時は一日で100人ももの登山者がユートピアのお花畑を目指して登ったそうです。

多くの登山者は、花の写真



▲踏み荒らされ、土がむき出しに(中央部分)

を撮ることが目的です。花にできるだけ近づいて撮影しよう、と、登山道を外れ、植物を踏み倒して入っていったと思われる場所が、例年に比べて目立ちました。特に鳥取県準絶滅危惧種のナンゴククガイソウが踏み荒らされています。『人が見ていないから大丈夫』『少しなら踏み倒しても問題ない』という軽率な行動が、取り返しのつかない状況を招きかねません。

大山の国立公園特定保護地区内では、あらゆる植物の採取・損傷を禁じています。一人ひとりがルールとマナーを守って登山を楽しみましょう。



▶風にゆれるナンゴククガイソウ